

— 沖縄総合事務局 —

## 浦添北道路・臨港道路浦添線について ～周辺道路の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス性向上～

### 1. はじめに

沖縄西海岸道路は、産業や人口の集積する沖縄本島中南部西海岸地域の交通渋滞の緩和、物流の効率化、観光などの産業振興を目的とした読谷村から糸満市に至る約50kmの地域高規格道路である。

沖縄西海岸道路の一部を形成する「浦添北道路(延長2.0km)」と臨港道路として位置づけられる「臨港道路浦添線(延長2.5km)」は、国道58号の浦添市や那覇市街地及びその周辺の渋滞緩和、那覇港とその背後圏との物流機能の強化並びに、那覇港や那覇空港と県内各拠点とのアクセス性向上に資する道路であり、平成29年度中の同時開通を目指している。



沖縄西海岸道路

### 2. 整備効果

浦添北道路及び臨港道路浦添線は、那覇空港から浦添市・宜野湾市を結ぶ新たな別線となるため、大きな整備効果が発揮されると期待している。

ここでは代表的な効果を以下に示す。

#### (1) 県内最大の幹線道路「国道58号」の渋滞緩和

宜野湾市・浦添市はもともと沖縄県中部地域から那覇市へアクセスする交通の要所となっており、近年は西海岸地域の著しい開発に伴い、国道58号等では、日常生活交通をはじめ、物流交通、観光関連交通が集中し、渋滞が慢性化している。

浦添北道路・臨港道路浦添線の整備により、国道

58号の交通渋滞の緩和、移動時間の短縮等が見込まれる。



国道58号の渋滞状況(浦添市港川)※

#### (2) 那覇港の物流機能の強化

沖縄県の拠点港である那覇港から沖縄県中北部への物流は、浦添ふ頭以北の臨港道路が未整備であったため、慢性的な交通渋滞が続いている市街地を經由し、輸送していた。浦添北道路・臨港道路浦添線の整備により、港湾物流の機能強化を図り、地域経済及び産業活動を支援する。

#### (3) 空港・港湾へのアクセス性向上による観光振興

浦添北道路・臨港道路浦添線の整備により、沖縄本島中北部と那覇空港・那覇港や県都那覇市とのアクセス性が向上し、観光振興に貢献する。



那覇港への大型クルーズ船着岸状況

### 3. おわりに

今後も沖縄西海岸道路の事業を推進し、観光支援、地域活性化、地域振興プロジェクトの支援に役立つ道路整備を目指し、着実に事業を進めていきたい。

(内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所 調査第二課 知名 広道)